

地域協働学校だより No.8

令和3年3月9日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

地域協働学校からのご報告です。約1年前から私たちの生活を脅かしてきた新型コロナウイルス感染症が年末年始にかけてさらに猛威を振るい、2021年1月7日に緊急事態宣言が再度発令されるに至りました。学校行事にもまた制限がかかるようになり、校外学習や学年をまたぐ活動は中止、部外者との接触は最小限になっています。

そんな中ですが、先生方や講師の方々のご尽力により、児童たちはいくつかの体験学習を行うことができました。また、卒業を控えた6年生は、卒業対策委員会の保護者の方々のご尽力で、例年とは違った形でしたが「卒業を祝う会」を行うことができました。地域協働学校運営協議会委員による学校の活動の見学も当面はできませんが、先生方、PTAの担当者の方に様子を聞かせていただきましたので、ご紹介いたします。

6年日本舞踊教室(1月22日)

1月22日(金)6年生を対象に伝統文化理解教育の一環として、日本舞踊教室が行われました。当日は日本芸能実演家団体協議会より7名の方々にお越しいただき、体育館のステージで実演の鑑賞、その後扇を使った実技体験も行いました。実演では、能から伝わる「舞(まい)」と歌舞伎からでた「踊(おどり)」という2種類の体の動きを見せていただきました。体験学習の中止が相次ぐ中、よい経験になりました。



走り方教室(2月12日)



2月12日(金)全学年が走り方教室を体験することができました。元オリンピック陸上選手の方々から直接ご指導いただける貴重な機会でした。

この日はアテネオリンピック4×400mリレー日本代表の伊藤友広さんとロンドンオリンピック400mハードル日本代表の館野哲也さんにお越しいただきました。

まず1校時に放送による講演があり、児童たちは各教室でパワーポイントのスライドを見ながらオリンピックの夢や目標についてのお話を聞きました。2～4

校時は、第1・第2校庭でそれぞれ1学年ずつ実技教室が行われました。学年ごとに1時間ずつ、1つの学年につきオリンピック1人がついて指導していただきました。



コロナ禍にありながら、ICT や校庭をうまく利用して、講師の方々と先生方の工夫で全学年が体験学習をできたことをとてもうれしく思いました。

卒業を祝う会 (3 月 5 日)



3 月 5 日に 6 年生保護者有志からなる卒業対策委員会による「卒業を祝う会」が体育館にて行われました。

当日は 6 年生児童と泉崎校長先生、白崎副校長先生、担任の滝本先生・常本先生・伊藤先生、音楽の野沢先生のみでの参加でしたが、校長先生のお言葉の後には、飯島同窓会長はじめ 3 人の卒業生ならびにおやじの会からのお祝い・激励の言葉がスクリーンで上映されました。

次に、「6 年生による 6 年生のための音楽会」と題し各クラスがこの日のために選曲して練習してきた楽曲をクラス紹介と併せ演奏しました。続いて、保護者の方々がこの日のために準備、作成した「六年間の思い出」、「保護者から～贈る言葉～」の 2 本立て動画がスクリーンにて上映され、小さかった自分や友達の姿、たくさんの学校行事を振り返って児童たちは歓声や悲鳴を上げていました。



「10 年後プロジェクト」として児童それぞれが 10 年後の自分に宛てて書いたメッセージカードを、裏にして 1 枚の模造紙に各クラス出席番号順に貼り付けると、担任の先生の似顔絵になって披露されました。10 年後それぞれのメッセージカードを持って集合出来ると良いですね。

その後、記念品の贈呈、担任を代表して常本先生からの贈る言葉、最後に吉竹実行委員長からの感謝の言葉で閉会となりました。

今回参加出来なかった 6 年生保護者の方々には期間限定のパスワード付き動画配信が行われるとともに、当日の様子を編集した DVD も配布されるそうです。保護者の方々と先生方が、コロナ禍で困難な状況の中でも児童たちを想い、作り上げた素敵な会でした。

